

## 業務改善活動、ICTの活用

### 1 BPRの視点による業務改善活動

#### (1) 取組状況

これまでの課単位で自らが進めてきた業務改善に加え、第三者の意見を参考にしながらボトムアップによる新たな業務改善活動に取り組む。

今回は疾病対策課をモデル課として、富士通（株）と連携し、業務改善活動を実施した。

取組期間	平成 29 年 11 月～平成 30 年 8 月
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員へのインタビューや現場観察などによる業務実態の可視化</li> <li>・個々が感じている課題を共有し班員総意により課題解決に向けた改善計画を立案</li> <li>・計画に基づく改善活動を実施中</li> </ul>
改善項目	<p>【短期的取組】 ファイルデータ保存方法のルール化、審査マニュアル作成など</p> <p>【中長期的取組】 認定審査の自動化、よくある質問集の作成・関係機関との共有など</p>

#### (2) 今後の動き

疾病対策課の取組内容を参考に、時間外勤務が多い所属等への横展開を図る。

### 2 ICTの活用（RPAの導入に向けた取組）

仕事のやり方を見直す一環として、これまで人間が行ってきた業務のうち定型的なパソコン業務の一部をRPAを活用して自動化する。

#### (1) 取組状況

時期	対象業務	
平成 30 年 6 月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方交付税算定に用いる基礎数値照会</li> <li>・地方公務員給与実態調査データ入力</li> <li>・入札基本情報の入力</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>	5 業務
平成 30 年 11 月～ (9 月補正予算)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品請求書の作成</li> <li>・県公報からのデータ収集、集計</li> <li>・資金計画の作成</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>	15 業務

(参考) 上記 20 業務に導入した際の時間削減効果 (見込)

RPA導入前の作業時間	RPA導入後の作業時間	削減時間	削減率
4,600 時間	1,600～1,800 時間	2,800～3,000 時間	60～65%

#### (2) 今後の動き

RPAの導入拡大のほか、Web会議システムなど新たなICTを積極的に取り入れる。